

令和5年度 第3回 北浜南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年 10月17日（火） 13時30分から16時まで
- 2 開催場所 北浜南小学校 3階会議室
- 3 出席委員 森田 正幸、波多 信広、永瀧 利佳、島尾 智砂子、鈴木 正紘
森高 麻衣
- 4 欠席委員 永井 敦史
- 5 オブザーバー 鈴木 雄介（北浜南部協働センター）
- 6 学 校 鈴木 健（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、白鳥 直樹（教務）
無州 潤（CS担当）
鈴木 利江子（CSディレクター）

7 傍聴者 なし

8 協議事項

- （1）議長の選出について
- （2）授業参観を通して
- （3）全国学力・学習状況調査について
- （4）次年度に向けて
 - ◆ 仕事についての話を聞く会について
 - ◆ ソフトボール投げ指導について
 - ◆ 町ぴかぴか活動について

9 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 利江子

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）授業参観を通して

授業参観を終え、委員より以下の発言があった。

- ・ 先生の話をしっかり聞いて授業を受けていた。とても真面目な印象だった。（オブザーバー）
- ・ 前回からみて子供たちの成長を感じた。まわりを気にせず自分の意見をはっきり言えるいい環境だと思った。まわりへの気遣いもみることができ、感心した。（鈴木委員）
- ・ 1年生がとてもまとまりができたと感じた。鍵盤ハーモニカを演奏するとき、騒がしくなるのではと思ったが先生の指示をしっかり聞いてみんなで演奏していたのがよかった。制服を上手に着こなしている。2年生のかけ算のテストをアットホームな雰囲気の中でやっ

ているのに感心した。(森高委員)

- ・ 落ち着いて授業を受けている印象。特に5、6年生。1年生は春の時よりだいぶしっかりして小学生らしくなった。(島尾委員)
- ・ 先生方の板書の字がきれいで読みやすい。クラスのまとまりがいろいろな行事を経て、できてきた。鍵盤ハーモニカは、にぎやかになるのではと思ったが先生のもっていきかたがとても上手で子供たちの集中をきらすことなく演奏していた。授業に集中できていない子供が数人みうけられた。そういう子も授業が分かるような指導をしていってほしい。(永瀧委員)
- ・ おだやかな子供が多い印象。今の子供たちにあわせた指導法が効果的でいい学校だと改めて感じた。(波多委員)
- ・ 1年生が学校になじんできた。4～6年生は落ち着いている。算数は九九がしっかり身につけていることがとても大事。九九はきっちり覚えてもらいたい。(森田委員)
- ・ お褒めの言葉ありがたい。全体としてはとても落ち着いている。トラブルはあるが先生方が初期対応をしっかりしている。学校全体で共有し対応している。(鈴木校長)

(3) 全国学力・学習状況調査について

議長の指示により白鳥教務から別紙資料(9月発行さつきだより)に基づき学力・学習状況調査について説明があり、委員より以下の発言があった。

- ・ 国語力がすべて。母国語をきちんと身に付けることが大切。学校でも家庭でも何か国語力につながるようなことを考えてやらせていってほしい。(森田委員)
- ・ 全国平均より少し劣っているが小学校で勉強の楽しさをしっかり身に付けておけば、本当にやる気になったときに伸びる。好きという割合をいかに増やしていくかが大事。(鈴木校長)
- ・ 落ち着いて授業を受けることが大事。本は昔より読まなくなっている。与えられて読むのではなく、興味をもって自分から読みたくなる環境が大切。(島尾委員)
- ・ 英語も国語力。今はスマホやゲーム、動画など読書以外が発達している。子供たちに読書をどのようにアプローチしているか。(波多委員)
- ・ 読み聞かせで読む時、作者と絵を描いた方の名前を伝えている。そこから興味をもってその人なりを調べてみたりするといろいろな方向へ広がってその子の知識になる。漫画から入ってもいいし興味付けが大事。どこでスイッチが入るか分からないが誰かがひっかかってくれたらいいと思う。(永瀧委員)
- ・ 教材を基にして、こんなお話があるよとか作者の他の本を紹介することで本を探しにいたり読んだりすることに繋がる。特に低学年の方が反応いい。低学年の間に本の楽しさを教えると高学年になっても続けて読んでいくので他の教員と共有してやっていきたい。(無州CS担当)
- ・ 家庭で読み聞かせをしたり、家族が読書したりしている環境。何がきっかけで好きになるかは分からないが、きっかけ作りは大切。(鈴木校長)
- ・ きっかけは何気なく与えている。孫に読み聞かせをしていた。ジャンルはなんでもいいと思う。先生方には授業のなかで生きるヒントになることをしていただけたらと思う。子供

たちに読む手段や検索の仕方を教えることも大事。子供たちのためにいろいろなジャンルの本を紹介して行ってほしい。(森田委員)

(4) 次年度に向けて

◆ 仕事についての話を聞く会について

議長の指示により中谷教頭から別紙資料に基づき仕事についての話を聞く会について説明があり、委員より以下の発言があった。

- ・ また、毎年できるようにCSでも協力できるところはやっていきたい。(波多委員)
- ・ 子供たちのなりたい職業にヒットしなくてもいろいろな仕事に分かれればいいと思う。地域等で活躍している方の話が聞ければと思っている。(鈴木校長)
- ・ 子供たちの前で最初はどうも話ができるか不安だったが子供たちが目を輝かせて聞いてくれてほんとうにやってよかった。学校から6年生の保護者の方に通知を出してもらったが講師が集まらず残念だった。やり終わった感動を保護者の方とも共有したかった。保護者の方はすごく難しく考えていたかもしれない。アルバイトの経験でも子供たちには伝わるので、その学年の保護者の方に来て頂けたら子供たちもうれしいと思うし保護者もやってよかったと感じてくれると思う。(島尾委員)
- ・ 学校の目的が一番大事。在籍している保護者主体でいろいろな職業の話を聞かせることが目的なのか、子供たちに職業を紹介することが目的なのかを協議してほしい。(波多委員)

◆ ソフトボール投げ指導について

議長の指示により中谷教頭から別紙資料に基づきソフトボール投げ指導について説明があり、委員より以下の発言があった。

- ・ 2年生が投げられるようになった。新体カテストで10メートル以上投げることができた。投げ方がしっかりしてきてかっこよく投げていた。2回でこんなに投力が伸びることに驚いた。楽しくわかりやすい指導ですごくためになる活動。これからもぜひ継続して行ってほしい。(無州CS担)
- ・ 来年度も継続していきたいと思う。(中谷教頭)
- ・ CSの成果。これからも続けていきたい。(波多委員)

◆ 町びかぴか活動について

議長の指示により中谷教頭から別紙資料に基づき町びかぴか活動について説明があり、委員より以下の発言があった。

- ・ コロナでできなかったが元の体制でできるようになった。今後どうしていくか。グループ分けはどうしているか。(波多委員)
- ・ 住んでいるところを基本としている。人数の関係で多少ずらして活動しているところもある。(中谷教頭)
- ・ 地域の人が楽しみにしている。今後自治会の方がCSに入っていただけといいのではないかと思う。(波多委員)

その他報告事項等

- ・ 学校運営協議会自己評価の実施について

議長の指示により中谷教頭から学校運営協議会自己評価の実施について説明があり、2月の会合で皆さんの意見をまとめて提示したいとの説明があった。

司会から、次回会議は、令和6年2月6日（火）15時から3階会議室で開催する旨の報告があった。